

## 小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 精神障がい者の地域生活を支援するために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

精神保健医療福祉の施策はこの数年で大きく変わってきています。2006 年度に施行された「障害者自立支援法（現在は障害者総合支援法）」において、障がい種別により異なっていた身体障がい、知的障がい、精神障がいへの福祉サービスが一元化され、相談支援の充実をはかることにより地域での定着をサポートする地域定着支援が行われています。改正精神保健福祉法においても、退院促進のための体制整備が病院側に義務付けられるなど、精神障がい者の地域生活への移行を促進する流れになっています。

しかし、地域で暮らす精神障がい当事者にとっては生活に不安があったり、無理をすると悪循環に陥ってしまい自信を失ってしまうこともあります。疾患や障がいに関する理解と知識の普及啓発と、地域での退院促進や地域生活への支援をどのようにすすめるか、以下の質問を致します。

1. 小・中学校の授業などで心の病や精神疾患についての学びの時間はどのくらいあるか。また、教員研修に精神疾患の正しい知識や対応方法を得る内容はあるか、平成 27 年度から現在までの受講状況についても伺います。
2. 教育委員会と健康推進課、障がい者支援課、家庭支援担当や市民協働・男女参画推進課との連携で、子ども、教員、保護者、地域の人へのわかりやすい精神保健の学習会や出前講座などの取り組みを求めてきました。連携して行ったと取り組みについて、平成 25 年度から現在までの実績と今後の取り組みについて伺います。
3. 東京都ひきこもりサポートネットの窓口が開設されて 4 年たちました。精神障がい者の支援のためにはひきこもり対策も必要と考えるが、これまでの申し込み件数と、支援内容や経過についてのフィードバックはあるのか、伺います。また、市として、ひきこもり支援の方向性について伺います。
4. 地域における療養生活を支援するため、本人の意向に寄り添う医療と生活支援の両立を目指したアウトリーチ支援が求められます。その体制の構築に向けてどのようにすすめますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則題 57 条第 2 項により通告します。

2018 年（平成 30 年）2 月 15 日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ

受付番号【 22 】 - ( 1 / 2 )

整理番号（通しNo.）…… ( )